

パート 3 5つの訳文

Aさんの訳

委員会は若いスケートボーダー達と数回にわたる協議を行った結果、法律を改正して中心街の歩道だけを立ち入り禁止にすることを可決した。その後、この町はスケートボード用の公園も建設し、1998年の開園以来大変な人気となっている。

この例で、私達は様々なニーズと全ての地域関係者の実例を目にする。それは娯楽へのニーズで始まる。一部の若者はスケートボードをしたい——それは彼らがリラックスし、元気を取り戻すやり方なのだ。それが楽しいのだ。私達は皆、人生を楽しむために遊ぶことに時間を費やす必要がある。特に子供にはそれが必要だ。このような人々は、中心街を自分達の遊び場に変えることで、娯楽への自分達のニーズを満たすための行動を取っている。この行動は町の人々や企業との軋轢を生んでいる。高齢者が歩道を歩くときは安心感が必要だ。彼らは安心できなければ中心街で買い物をしなくなり、事業者は客を失うことになる。このような人々や二、三の組織(企業)はこの問題を解決するために地方自治体に接触している。そしてこの地方自治体は、他者に迷惑や危害を与えるやり方で自らのニーズを満たしている子供達の行動を抑制するための措置を取っている。この最初の行動がひとつの輪となった。個人の行動が組織の反応を誘発し、次にそれが個人の行動を規制する政府の措置の発動を促した。全ての地域関係者は彼ら独自のやり方でこの状況に関わっていた。

Bさんの訳

若いスケートボーダーたちとの話し合いを数回重ねた末、特別審議会では法改正のための投票を行い、その結果、市街地の歩道のみがスケートボーダー立ち入り禁止区域となったのです。その後、町はスケートボード・パークも建設しました。パークは1998年のオープン以来、大変な人気を集めています。

この事例には、様々な要求とこの地域に関わる人物たちの相関図が浮き彫りになっています。事の発端はレクリエーションに対する欲求です。まず、スケートボードをやりたいがっている少年たちがいますね。それが彼らのリラックス・エネルギー充電の方法であり、楽しみとなっています。私たちは皆、遊んだり人生を楽しむ時間をもつことが必要ですが、ここの子供たちはとりわけそれを必要としていました。そこで、この少年たちはレクリエーションの欲求を満たすべく、行動を起こし、市街地を彼らの遊び場へと変えていきます。しかし、この行動は町の特定の人たちや事業団体と衝突することになります。高齢者には歩道での安心感が必要だからです。高齢者が安心感を得られなければ、市街地では買い物をしなくなり、それによって事業経営者たちは顧客を失います。そして、このように不都合を生じた人たちと事業団体のいくつかは、問題解決を求めて地域行政に働きかけます。すると今度は、地域行政が行動を起こし、子供たちの行為を抑制します。子供たちは欲求が満たされていても、それは他人の迷惑であり、安全上問題があったからです。さあ、この時点において、最初の子供たちの行動は一周して振り出しに戻ってしまいました。つまり、個人がとった行動が組織的な反応を引き起こし、次にこの事が行政措置の発動を促し、遂には個人の行為を規制する結果となったのです。この地域の関係者は皆、それぞれの立場でこの難題に巻き込まれたのでした。

Cさんの訳

スケートボードの若者と数回会合を重ねた後、選抜委員会は条例を改正し、禁止されるのは町の中心の歩道のみということになりました。その後町はスケートボード公園も建設し 1998 年に開園してからは、非常に人気のある場所になっています。

この例で私たちは多くのさまざまな要望とその地域全体のかかわってきた様子を見ました。まず、レクリエーションに対する要望から始まりました。スケートボードをしたいという若者たちがいました。それは彼らがくつろいで生き生きできる場であり、楽しみでもありました。私たちは皆、とくに子供たちは暇を見つけて遊んだり、生活を楽しんだりすべきです。そこで、個々の若者たちは自分たちのレクリエーションがしたいと、町の中心地を遊び場にしてしまったのです。この行為は町の他の個々人と商店主との摩擦を生みました。年配の人々は安心して町にでたいのです。もし、危険を感じれば、町に買い物にでないでしょう。そうすれば商店主は客を失うことになります。これらの個々人と商店の団体は地域の行政に渡りをつけ、問題を解決しようとしてしました。次にこの地域の行政は子供たちの行動を規制するという措置を取りました。というのも子供たちは自分たちのしたいことをするのに、人に迷惑をかけ、安全をおびやかしていたのですから。最初にやったことが一回りしました。個々の行動が組織の反応を呼び起こしそれが今度は行政の行動を起こして個々の行動を規制したのです。その地域すべての関係者が自分自身のやり方で、かかわりを持ったのです。

Dさんの訳

若者たちと数回話し合いを持った後、町議会は条例の改正案を通過させ、町の中心部の歩道のみ、スケートボードを禁止しました。その後すぐ、町はスケートボード専用公園の建設を開始し、1988年に開園しましたが、オープン以来大変にぎわっています。

この例では、この地域社会に属する個人やグループや、それぞれの異なる欲求が相互に関連している様子を見てとることができます。まず、「スケートボードをして遊びたい」という若者の欲求が事の始まりでした。スケートボードをするのは、リラックスしたり、リフレッシュしたりするための彼らなりの方法で、楽しいことなのです。遊ぶ時間はだれにでも必要でしょう？ 人生は楽しむべきだし、若者ならなおさらです。ですから、この人たちは自分たちの欲求を満たすために町中を遊び場にしてしまいます。しかし、この行為は他の町民や、商店との間にはトラブルを引き起こします。年配の人たちは安全に歩道を歩きたいし、安全でないと思ったら町では買い物をしない、そうすると商店は顧客を失ってしまう。そこで、個人（年配の人達）と一部の組織（数軒の商店）が行政に働きかけて問題の解決を図ろうとする。今度は行政が行動を起こして、他人に迷惑をかけたり、安全を脅かしたりする若者の自己本位な行動を規制するのです。ひとつの行動の影響が、回り巡って元々の行動に影響を及ぼしたのです。個人の行動が組織の反応を引き起こし、次は行政を動かし、発端となった個人の行為を規制することになる。このように、この地域社会に属している人々は、それぞれ違う立場でこの事態に関わることになったのです。

Eさんの訳

スケートボーダーの若者達と幾度かの話し合いを重ねて、委員会は条例を修正し、市中心部における歩道のみを禁止区域と決めました。その後、役所はスケートボード専用の公園を設置。1998年のオープン依頼、絶大な人気を得ています。

この事例が示しているのは、人々のニーズは多種多様であり、コミュニティーが一体となって活動を起こすこともあるということです。リクリエーションに対するニーズが事の発端でした。スケートボードをするとリラックスでき、元気回復にもつながるという若者もいるのです。スケートボードは楽しいですから。遊びに興じ、生活を楽しむ必要は誰にでもあります。特に子供達。そのため、一人一人が、それぞれのリクリエーションに対するニーズを満たすべく行動を起こし、市の中心街を遊びの場としてしまいました。これが、個人とその地元の企業との間の争いの火種となったのです。高齢者は安心して歩道を歩きたいと思っています。もし安心できないのであれば、市街地で買い物をしなくなってしまい、その結果、店は顧客を失うことになるのです。それらの個人と幾つかの組織（企業）が地方自治体に連絡を取り、問題を解決しようと務めました。役所はその対応として、若者の活動を規制する行動に出たのです。若者は、他者に迷惑をかけ、安全を脅かすような形で自分たちのニーズを満たしていたのですから。ここで、それぞれの行動を一連の輪の中で繋げてみるができます。個人の行動が、組織の反感をかい、それが、今度は役所の行動を促し、個々人の行動を規制することとなったのです。コミュニティーの人々全てが、それぞれの立場で、この状況に関与することとなりました。